

学 校 案 内



青森県立黒石養護学校

〒036-0411 青森県黒石市大字温湯字がむし堤沢5-3

電話 0172-54-8260

FAX 0172-54-8261

URL <http://www.kuroishi-shien.asn.ed.jp/>

MAIL kuroishi-sh@asn.ed.jp



黒石養護学校のセンター的機能について

【小中学校等の教員への支援】

幼稚園、保育所（園）、小学校、中学校、高等学校等の教職員からの相談に対して支援します。

【小中学校等の教員への研修協力】

特別支援教育に関する校内研修会に講師を派遣します。

特別支援教育関連の教材・教具、書籍等の展示や貸し出しを行います。

【育ちが気になるお子さんについての教育相談】

お子さんの「育ちが気になる」「発達が気になる」「学校生活や将来の進路について」等、気がかりなことや、相談ごとがある方のために、教育相談を行っています。

《教育相談の受付》

教育相談は随時行っていますが、事前に電話でご連絡ください。

※月～金曜日 9:00～16:00 担当：教頭

相談の対象となるお子さんの年齢制限はありません。

〈本校の概要〉

- ・本校には、知的発達に遅れがあり、集団参加や身辺処理に困難がみられる子どもたちが在学しています。
- ・小学部、中学部、高等部があり、46名の児童生徒は、自宅や隣接の「もみじ学園」から通学しています。
- ・地域に開かれた学校をめざし、温湯地域周辺の学校や住民との交流を行っています。

〈障害の特性に配慮した教育活動〉

児童生徒の興味・関心のある内容を手がかりに

食事や着替え、
排泄などの
基本的な生活習慣

ルールの理解、
集団とのかかわり、
良好な人間関係
社会性

ことば・数などの
生活に必要な基礎学力

勤労観、職業観、
健康な体づくり
働く力

を身に付けるための学習を行っています。

〈学校教育目標〉

子どもたち一人一人の能力や特性を生かし、自分の力で歩いていける人間をはぐくむ

ア がんばる子 イ 仲よくする子 ウ 元気な子

〈高等部卒業生の主な進路先〉

就 職 先	事業所・施設等
・木村食品工業 ・ホテルルートイン弘前駅前 ・マックスバリュ新おおわに店 ・カブセンター神田店 ・久栄会みのり ・ワークスクロいし ・さくらの杜 ・エフリング ・オリンパスサポートメイト ・ラグノオ	・ワークショップ大鰐 ・ワークキャンパス大鰐 ・せせらぎの園 ・きりんの里 ・カリフラワー ・NEXT ・ウタリ ・SUNFLOWER ・ミノリサイクル ・チョコなみおか



小学部

- 自分の身の回りのことを、自分でできるように支援します。
- 生活場面や遊びを通して、ことばや数の理解を深め、みんなと仲よく集団生活ができるようにします。



日常生活の指導



生活単元学習



遊びの指導



自立活動

中学部

- 小学部の学習を一層発展させ、社会生活や家庭生活で必要とされる基礎的な力を身に付けるための学習を行っています。



国語



作業学習



保健体育



美術

高等部

- 具体的な活動を通して、社会生活能力を高めるとともに、実際に働く経験を通して、働く喜びや自立生活への意欲を育てます。



数学



産業現場等における実習



作業学習



情報（ビジネスコース）

【各学部の時程表】

校時等	小学部 校時程	中学部 校時程	高等部 校時程
登校	～8:40	～8:30	～8:30
1校時	8:50～9:35	8:40～9:25	8:40～9:30
2校時	9:35～10:20	9:25～10:15	9:35～10:25
中休み	10:20～10:30	10:15～10:25	10:25～10:30
3校時	10:30～11:15	10:25～11:15	10:30～11:20
4校時	11:15～12:00	11:15～12:05	11:20～12:10
給食	12:00～12:30	12:05～12:35	12:10～12:35
昼休み	12:30～12:55	12:35～12:55	12:35～12:55
5校時	13:00～13:45	13:00～13:50	13:00～13:50
6校時	13:45～14:30	13:50～14:40	13:50～14:40
下校	13:00 13:45 14:30	13:50～14:05 14:40～14:55	14:40～15:00

主な行事

- 日頃の学習の成果を発揮するとともに、望ましい人間関係を形成し、友達と協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てます。



運動会



黒養祭



特別支援学校総合スポーツ大会



交流及び共同学習

- 障害のある児童生徒と障害のない児童生徒、あるいは地域の人が触れ合うことで、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となっています。



東英小とのレク交流



ぶどう畑の作業体験



居住地校交流



柏木農業高校での収穫体験